

● メールを便利に使おう ●

仕事で、プライベートで大活躍のメール。パソコンでは Outlook Express を使用している方が多いと思いますが、今回は知っているとちょっと便利な機能をご紹介します。

(環境：Windows XP SP2/Outlook Express 6)

●セキュリティに気を配る

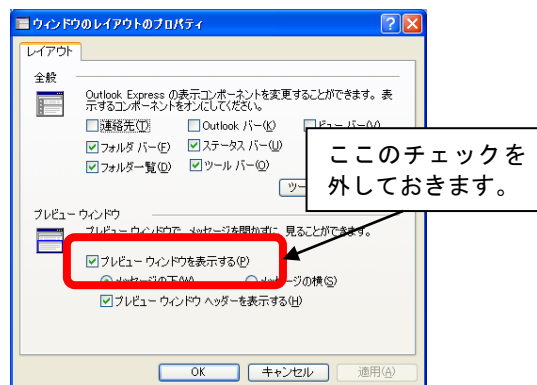
メールを介して広まるウイルスには、メールを見ただけでウイルスに感染してしまうものもあります。パソコンにはウイルス対策ソフトを導入するのがもはや常識ですが、念のために Outlook Express 側でも簡単な設定をかけてみてはいかがでしょうか。

□レイアウト

Outlook Express の画面は通常、左にフォルダの一覧、上にメールタイトルの一覧、下にメールの本文が表示されます。

このレイアウトを変更し、メニューの本文を非表示にすることができます。メニューの [表示→レイアウト] の「プレビューウィンドウを表示する」のチェックを外しておきます。

メール本文を表示するには、メールタイトルをダブルクリックしてください。明らかに怪しいメール等は、メールを見る前に削除することができます。



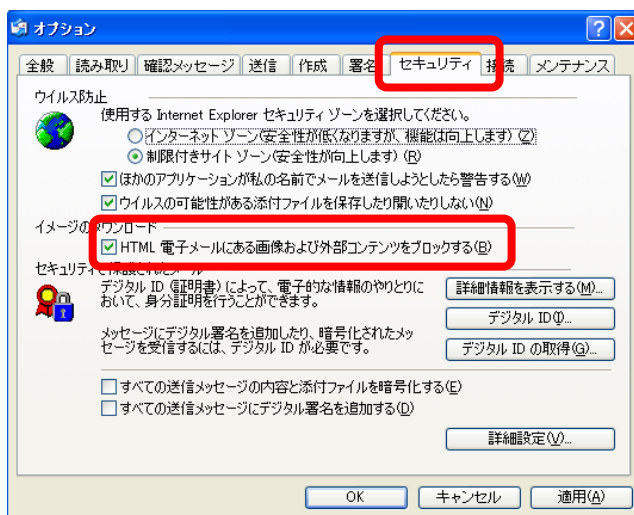
□オプション→セキュリティ

メールを見ただけで感染するタイプのウイルスは、HTML 形式のメールを利用して配布されています。色がついていたり、写真や図がついているような、まるでホームページのような形式のメールが、HTML 形式のメールです。

ウイルスは HTML 形式メールの、写真や図といった画像を表示する機能を悪用してウイルスを感染させます。Outlook Express では、画像の表示をブロックすることができます。

メニューの [ツール→オプション→セキュリティ] にて、「HTML 電子メールにある画像および外部コンテンツをブロックする」にチェックを入れると、メール内の画像を表示しないようになります。

信頼できるメール内の画像を表示させたい場合は、メール上部に「画像をダウンロードするにはここをクリックしてください」というメッセージが表示されますので、メッセージ部分をクリックします。



ちなみに……

「ウイルスの可能性がある添付ファイルを保存したり開いたりしない」のチェックをつけておくと、添付された Excel ファイル等もブロックされてしまうようです。頻繁にファイルが添付されたメールをやり取りする方は、このチェックを外しておいた方が便利かもしれません。

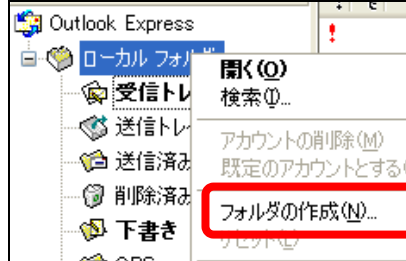
●必要なメールが迷子にならないようにする

メールは受信トレイに全部入れっぱなし、肝心なときに必要なメールがなかなか探し出せない！という方はいらっしゃいませんか？ 以下の機能を使って、メールを整理しておきましょう。

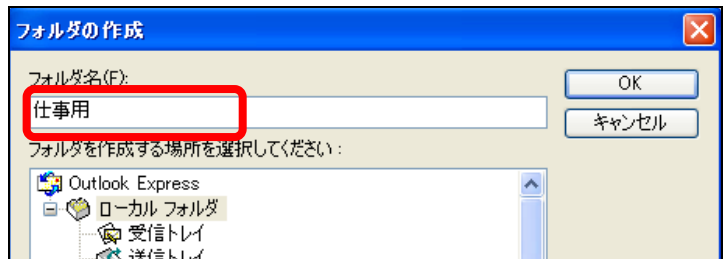
□フォルダを作成する

大事なメールを受信トレイとは別のフォルダに格納しておくことができます。

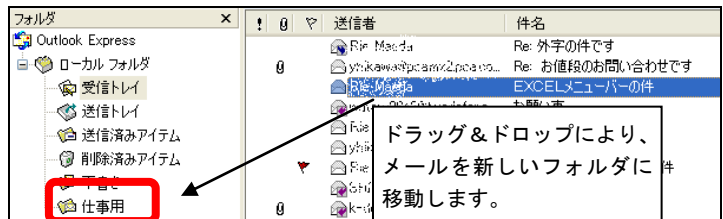
「ローカルフォルダ」上でマウスを右クリックし、表示されたメニューから「フォルダの作成」を選択します。



「フォルダの作成」ウィンドウが表示されたら、新たに作成したいフォルダ名を入力し、OK ボタンをクリックします。これで新しいフォルダが作成され、Outlook Express 左側の「フォルダ」内に表示されます。



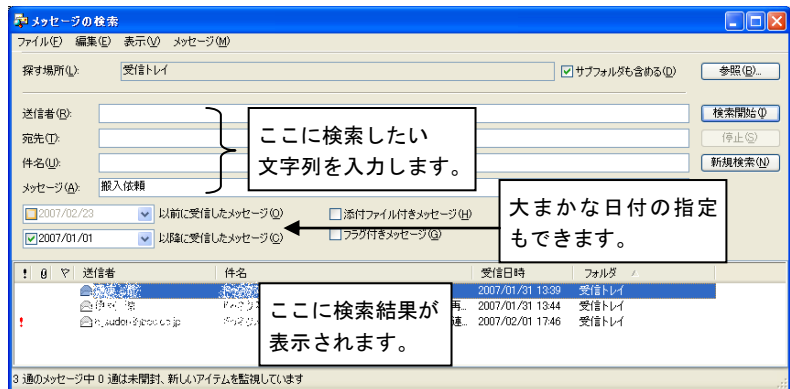
受信トレイに入っているメールを作成したフォルダ上にドラッグ&ドロップすることにより、メールの移動ができます。



□検索をしてみる

「○○について書かれているメールがあるはずなのだが、どこにあるのか分からない！」といった場合は、「メッセージの検索」を活用してください。(メニューの [編集→検索→メッセージ])

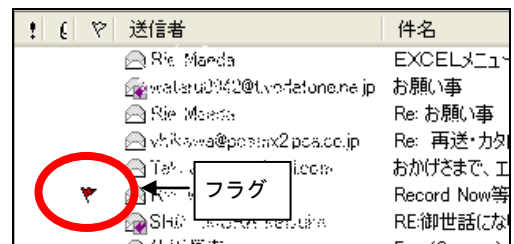
「送信者」「宛先」「件名」「メッセージ」から、特定の文字列を検索することができます。



□フラグを利用する

大事なメールに目印 (フラグ) をつけて目立たせることができます。

フラグをつけたいメールを選択した状態で、メニューの [メッセージ→メッセージのフラグ] をクリックします。メッセージタイトルの前にフラグが立ち、一目で大事なメールであることが分かります。



次回 (5・6月号) も引き続き、Outlook Express の便利な機能についてご紹介したいと思います。